

学 年 5年 2組  
氏 名 上原大弥  
住 所 北佐久郡軽井沢町長倉3734  
電 話 0267-45-5189  
学校名 軽井沢中部小学校  
メールアドレス 中山 nakayama-atsushi@sakuedu.or.jp

## 題 名 電気とわたし

本 文 20行程度

日本で最も使われている発電の種類は、火力発電です。全体の75%を占めるほど発電量が多いです。石油や天然ガスを燃やして、発生した蒸気でタービンを回転させて発電する方法で、安定した発電ができます。そして、火力発電のメリットは先ほど言ったように安定して発電できることです。燃料さえあれば、火力発電は天気などに左右されずに発電ができます。一方、CO<sub>2</sub>（温室効果ガス）をたくさん排出するため環境に悪いというデメリットがあります。

そこで、注目したいのが「地熱発電」です。地熱発電は、地中の溶岩から吸い取った蒸気でタービンを回し発電をする方法です。地中の蒸気を使うので、火力発電とおなじように天候に左右されずに発電できます。しかも、何かを燃やすわけではなく、もともとある資源から蒸気を入手するのでCO<sub>2</sub>もほとんど出しません。そして何よりも、溶岩は吸い取らないので無限に発電をすることができます。以上の3つから僕は地熱発電が、最も優れた発電だと思います。

ですが、大きなデメリットが1つあります。それは、地熱発電所をたくさん作ると、天然の温泉の数が減少することです。

そうすると温泉屋さんは儲けがなくなってしまうのと、天然水を流す温泉が減少して、観光地の数が減ってしまいます。なので、すべての人に認められにくいのです。

しかし、今の日本には廃墟される天然温泉がたくさんあります。その温泉を「地熱発電所」に変えれば、CO<sub>2</sub>削減と、発電量どちらにも特化した発電所ができるはずですが、地熱発電所を作るには、莫大なお金も必要になりますが、効率がいいのと環境にやさしいという面を考えれば、それに似合わないほど安い金額だと思います。

皆さんも効率が良くて、CO<sub>2</sub>削減になる発電方法を考えましょう。そして何よりも、無駄に電力を使わないようにすること心がけましょう。